

# ボローニャ大学協定留学 月例報告書（4月）

芸術文化学科4年 土居優莉

## Buongiorno!

4月になりさらに温かい日が多くなってきました。天気の良い日に見上げる青い空はとても気持ちよく、雲も夏の雲に変わってきています。さて、春といえばお花、ということで、ボローニャの中心からバスで少し行ったところにある TuliPark というチューリップ畑に行ってきました。辺り一面に色とりどりのチューリップが咲いていて、本当に綺麗でした。見たことのない種類のチューリップもたくさんありました。TuliPark では自分の気に入ったお花をいくつか摘んで持ち帰ることができます。私も家に持って帰ってキッチンに飾ると、ハウスメイトのみんなもとても喜んでくれました。



↑ TuliPark のチューリップ

## 復活祭 Pasqua

4月9日の日曜日はキリストの復活を祝う復活祭で、イタリア語では Pasqua と言います。日本ではあまり知られて

いませんが、実はクリスマスと同じかそれ以上に大切にされている祝日です。そのため Pasqua の日には家族や親戚が集まって家で昼食を食べたり、コロンバという伝統的なお菓子や卵型のチョコレートを食べたりしてゆったりと過ごすそうです。また、翌日の月曜日は Pasquetta と呼ばれ、友人たちと集まってピクニックなどをして過ごすのが一般的です。この2日間、私は、ハウスメイトとその友人たちと家でラザニアを作って食べたり、街を散歩したりして過ごしました。日本にはない文化に触れることができ、とても充実した2日間になりました。



↑ みんなで作ったラザニア

## 大学の授業

大学の授業も後半に入り、イタリアのポピュラー音楽の授業はひと足早く終了しました。授業の前半はアメリカの音楽から受けた影響について学び、授業の後半ではボローニャ出身の歌手 Lucio Dalla の曲を中心に勉強しまし

た。曲の歌詞について詳しく学ぶことが多かったのですが、歌詞には当時の時代背景や歴史が反映されているので、イタリアの歴史についての知識が少ない中で理解するのはとても難しかったです。最後の授業のあとには、一緒に勉強した友だちとバールでお茶をしました。授業でわからなかったことや大学のことなどをいつもたくさん教えてくれる優しい方々に恵まれ毎日楽しく勉強することができました。



↑同じ授業の友だち

#### 4月25日、解放記念日

4月25日は、1945年にナチスドイツやファシストに占領されたイタリアをパルチザンが解放したことを記念する日として国民の祝日に制定されています。この日はボローニャの街にはいつも以上にたくさんの方がいて、街を練り歩いたり食事をしたり、お酒を飲んだりして楽しんでいました。毎年この日に若者を中心に多くの人々が集まる場所としてボローニャで有名なのが Via del Pratello という通りです。レストランやバールなどのお酒を飲めるお店がずらっと並んだこの通りは毎年人が集まりすぎるため、安全のために入る際

にまず入り口で荷物チェックを受ける必要があります。中に入るとたくさんの若者が集まって楽しそうにおしゃべりをしたり歌を歌ったりしていて、かなりの盛り上がりでした。そのあとはジェラートを食べたり、公園でみんなでお話をしたりゲームをしたり、家でパスタを作ってもらってみんなで食べたりして過ごしました。



↑作ってもらったパスタ

#### おわりに

8ヶ月ボローニャで過ごして、今までに数えきれないほどたくさんバールに行きました。その中でも食べ物や飲み物の味や、お店や店員さんの雰囲気などがお気に入りのお店がいくつかあります。この日は授業の前にお茶に誘ってもらってオペラというバールに行きました。店員さんがとても親切で店内も可愛いのでとてもお気に入りなのですが、さらに、お店の奥にあるテラスがとても綺麗です。すぐそばを運河が流

れていて水の音を聞きながらリラックスすることができます。また最近、ボローニャに来て仲良くなった友だちに日本への帰国について聞かれることが多くなり、寂しくなるねと話すようになりました。あと3ヶ月弱で友だちともボローニャの街ともお別れだと思いと本当に寂しくなりますが、やりたいことを全部やり切ることができるように残された時間を大切に過ごしたいと思います。



↑授業の前に友だちとお茶